歴史総合-DX

**1854年（嘉永7/安政元年）ペリー上陸・ロシア来航**

年が明けた1月、予告通リに今度は9隻の黒船が浦賀沖に再来航し、幕府は3月に神奈川の横浜村（神奈川県横浜市中区）に上陸を許し、丁重に応接して日米和親条約に調印し、伊豆半島の下田（静岡県下田市）・箱館（北海道の函館）が、薪や水の補給港として開港地となり、その3月、長州藩の吉田松陰（1830～1859）は従者と共に、下田港に停泊中の黒船に真夜中に忍び込んで密航乗船を試みたが失敗し、奉行所に自首して投獄される身となってしまった。この年（1854年）プチャーチン提督率いる「ディアナ号」を旗艦とするロシア使節も来航し、幕府は12月にロシアと日露和親条約に調印した。